

## 成蹊大学 2017年度 後期公開講座開催のお知らせ

### ～統一テーマ「ロシア」:歴史と文化を素材にロシアを考察する～

成蹊大学(東京都武蔵野市、学長:北川浩)では、2017年度後期公開講座(全4回)を2017年10月7日(土)より開催いたします。

広大な領土と豊かな文化を持つロシアは、近年、再びその存在感を増大させています。ロシア革命から100年に当たる今年の後期の公開講座では、ロシアとはどういう国なのか、歴史と文化を主な素材としながら考察します。各回の概要に関しては、下記をご参照下さい。

#### ■第1回:「ロシア革命はクーデタか革命か、スムータ(動乱)か —論争史を整理する—」

日時: 10月7日(土) 10:30~12:10

講師: 富田 武 (成蹊大学 名誉教授)

#### ■第2回:「ロシアと第二次世界大戦の記憶」

日時: 10月14日(土) 10:30~12:10

講師: 立石 洋子 (成蹊大学 法学部助教)

#### ■第3回:「花よりダンゴ、ダンゴより花?ロシア文学における恋愛と料理の関係」

日時: 10月21日(土) 10:30~12:10

講師: 沼野 恭子 (東京外国語大学 総合国際学研究院教授)

#### ■第4回:「国民楽派の実態 —『ロシア・ファースト』を唱えざるを得なかった彼らの事情—」

日時: 11月4日(土) 10:30~12:10

講師: 一柳 富美子 (東京藝術大学 音楽学部講師)

- ・会場: 成蹊大学6号館401教室 (東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1)  
JR中央線・井の頭線「吉祥寺」駅より徒歩20分、  
または吉祥寺駅北口①・②番バス乗り場から関東バスで約5分「成蹊学園前」下車
- ・受講費用/資格: 無料/どなたでもご参加いただけます。
- ・定員: 300名(当日先着順)
- ・お問合せ先: 成蹊大学企画運営部庶務運営課  
TEL.0422-37-3535 E-mail.kikaku@jim.seikei.ac.jp

※お申込みの必要はございません。直接会場へお越しください。  
※各回とも独立した内容ですので、ご希望の回だけの受講も可能です。  
※講義内容・講師・会場につきましては、止むを得ず変更になる場合がございます。

本件に関する報道機関からのお問合せ先

成蹊学園 企画室 広報グループ

TEL.0422-37-3517 FAX.0422-37-3704 E-mail.koho@jim.seikei.ac.jp

---

富田 武 (トミタ タケシ) 成蹊大学 名誉教授

■講演名:「ロシア革命はクーデタか革命か、スムータ(動乱)か —論争史を整理する—」

ロシア革命ほど、評価が分かれた歴史的な事件はありません。1 世紀後の今日、評価の変遷と最新の研究を紹介しながらお話しします。日露関係の今後を考えるヒントも提供できればと思います。

---

立石 洋子 (タテイシ ヨウコ) 成蹊大学 法学部助教

■講演名:「ロシアと第二次世界大戦の記憶」

ロシアにおいて第二次世界大戦の記憶は、社会を統合する重要な役割を持つと言われていています。この戦争の記憶がどのように形成され、変化してきたのかを考えます。

---

沼野 恭子 (ヌmano キョウコ) 東京外国語大学 総合国際学研究院教授

■講演名:「花よりダンゴ、ダンゴより花? ロシア文学における恋愛と料理の関係」

19 世紀のロシア文学で、恋愛(花)と料理(ダンゴ)の描写にはどのような関係があるのでしょうか。ゴーゴリ、トゥルゲーネフ、トルストイ、ゴンチャロフの作品で考察します。

---

一柳 富美子 (ヒトツヤナギ フミコ) 東京藝術大学 音楽学部講師

■講演名:「国民楽派の実態 —『ロシア・ファースト』を唱えざるを得なかった彼らの事情—」

「歌は世につれ世は歌につれ」と言われるように、音楽は世相を反映します。社会の動向に照らし合わせながら音楽を紹介し、19 世紀ロシア国民楽派の面々が「ロシア・ファースト」を標榜した真相に迫ります。

---